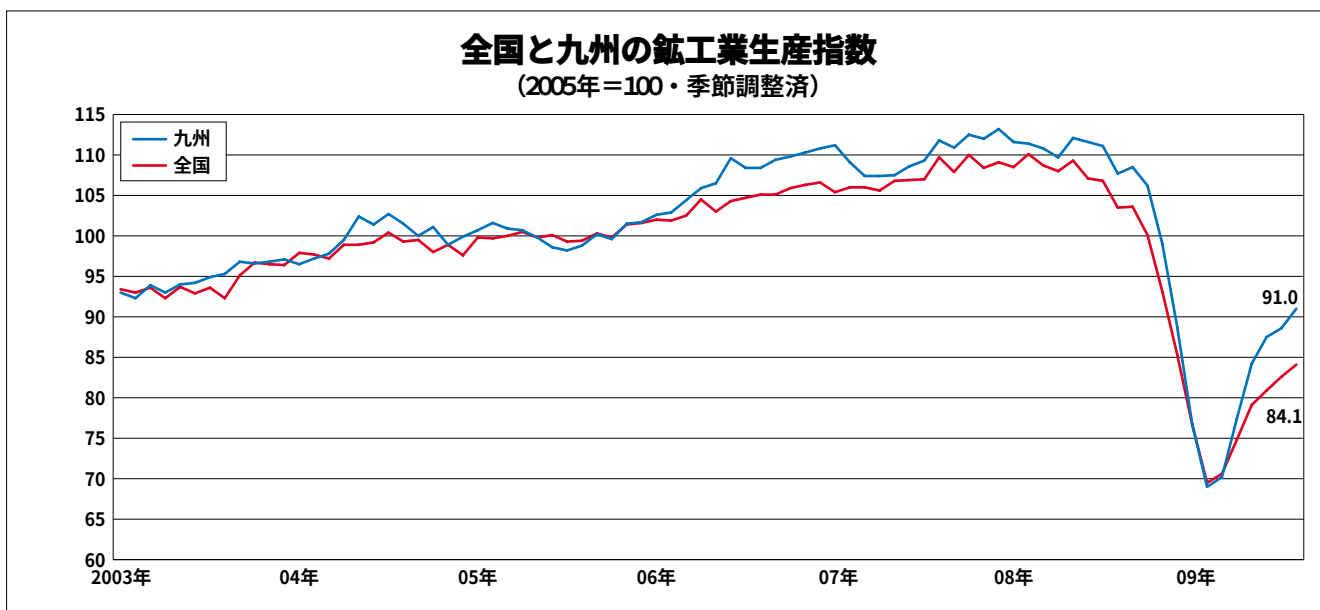


九州の鋳工業生産動向

[基調判断]……………在庫調整が進展しており、持ち直しの動きがみられる

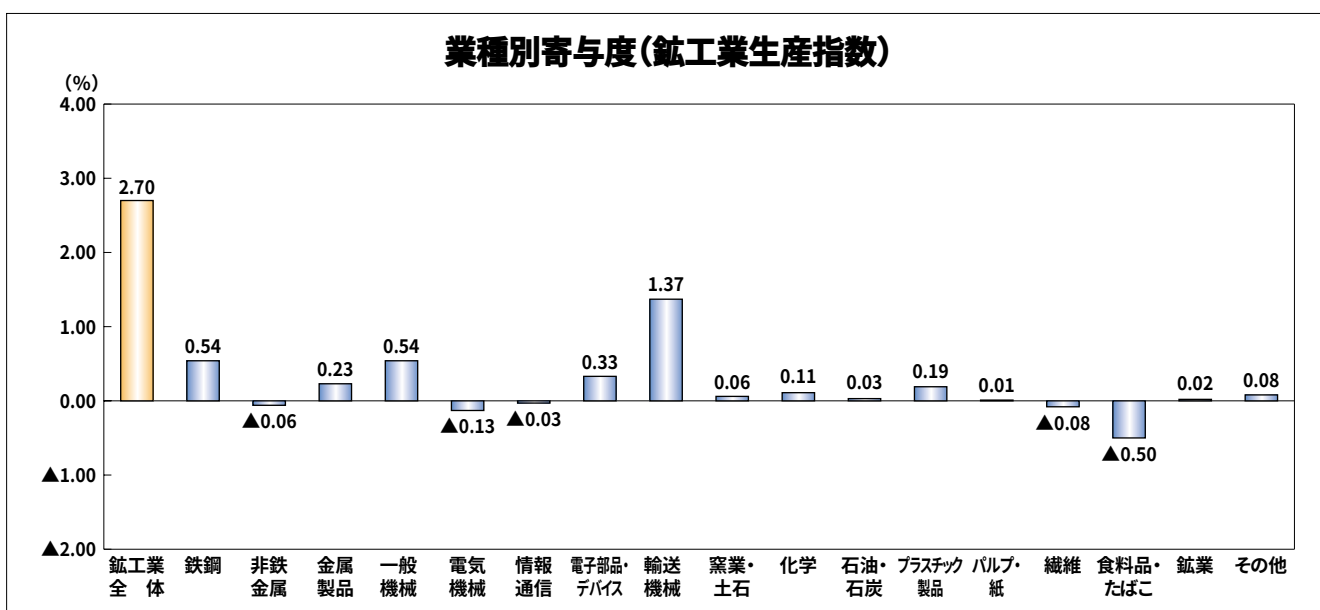
2009年8月の九州地区の鋳工業生産指数(季節調整済)は、自動車や鉄鋼などの生産改善により、前月比2.7%上昇し6ヵ月連続で前月実績を上回りました。九州地区の生産には全国を上回る勢いで持ち直しの動きがみられます。



(出所)九州経済産業局

[業種別動向]……………輸送機械工業、鉄鋼業、一般機械工業などで上昇

鋳工業生産指数の前月比2.7%上昇について、業種別に寄与度を見ると、環境対応車への優遇制度の効果で輸送機械工業が、また、新日本製鉄大分製鉄所の高炉再稼動をうけて鉄鋼業などが大きく寄与しました。トータルでは全17業種中12業種でプラスとなりました。



(出所)九州経済産業局

福岡県の最近の経済動向

[福岡県の景気]……………生産活動で持ち直しの動きが継続

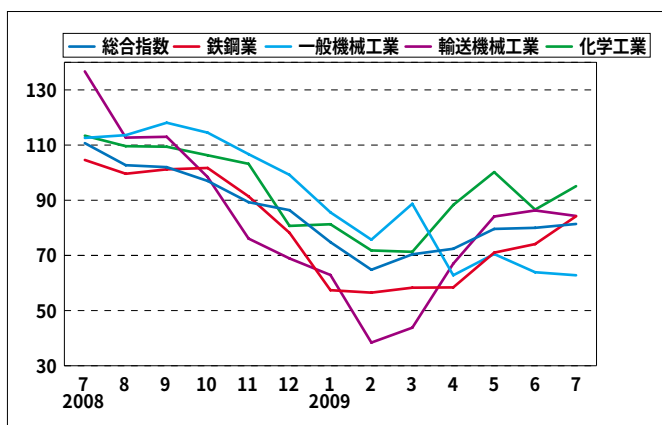
福岡県の景気は、厳しい情勢にあるものの、一部に回復の兆しが出てきています。

生産活動は、多くの業種で持ち直しの動きが見られ総合指数は5ヵ月連続で上昇しました。公共投資も前年を上回っています。

しかしながら消費は依然として生活防衛意識が強く、大型小売店販売額は前年を下回っています。また、住宅投資でも前年を下回りました。企業倒産も件数は減少したものの、負債総額は増加しています。

[生産活動]……………総合指数は5ヵ月連続で上昇

福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



(出所)福岡県

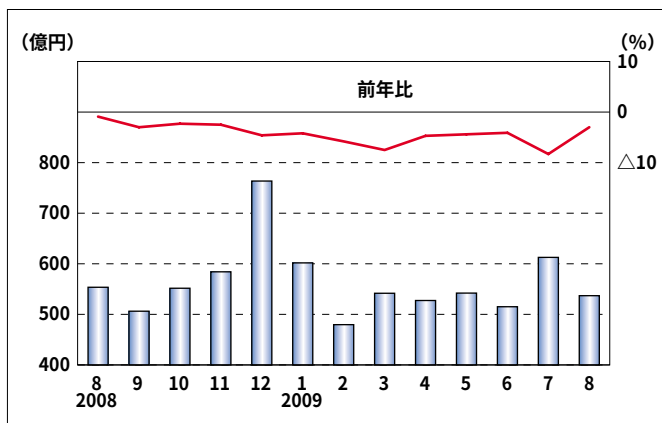
7月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、総合指数は81.4と、前月比1.4ポイント上昇しました。

総合指数の上昇は5ヵ月連続となり、生産活動は持ち直しているといえます。

主要業種では、鉄鋼は前月比13.6%、化学は前月比9.8%上昇しましたが、一般機械は前月比1.7%減、輸送機械は前月比2.3%減少しました。

[大型小売店]……………百貨店は減少、スーパーは微増

福岡県の大型小売店販売額



(出所)九州経済産業局

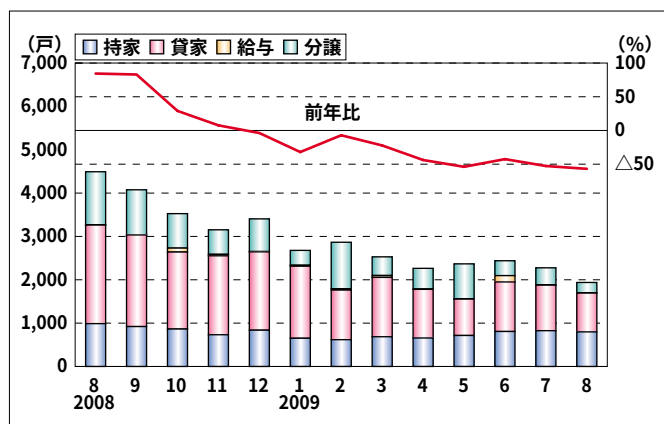
百貨店では、クリアランスセールやギフトの解体セールなどの催事効果により一部に動きがあったものの、主力衣料品などが伸びず、前年同月比7.5%減と大幅な減少となりました。

一方スーパーでは、消費者の節約志向が継続し、商品単価が下落傾向にあるもののプライベートブランド(PB=自主企画)商品が堅調で、前年比0.2%増加しました。

トータルでは前年比3.0%減の537億円となり、依然、消費者の生活防衛意識は強いといえます。

[住宅建設]……………貸家・分譲の減少が著しく9ヵ月連続の前年割れ

福岡県の新設住宅着工戸数



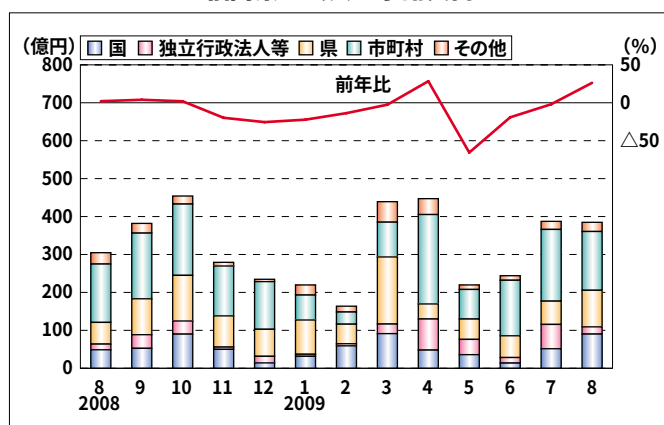
(出所)国土交通省

8月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比19.2%減の798戸、貸家で同60.6%減の895戸、分譲で同80.4%減の241戸となり、全体では同56.9%減の1,938戸となりました。

前年同月と比較すると貸家・分譲の着工が著しく減少しています。所得環境の悪化で不動産購入意欲が低下していることや、在庫処分を優先させる業者の動向が影響しているためと考えられます。

[公共工事]……………件数、請負金額ともに増加

福岡県の公共工事請負高



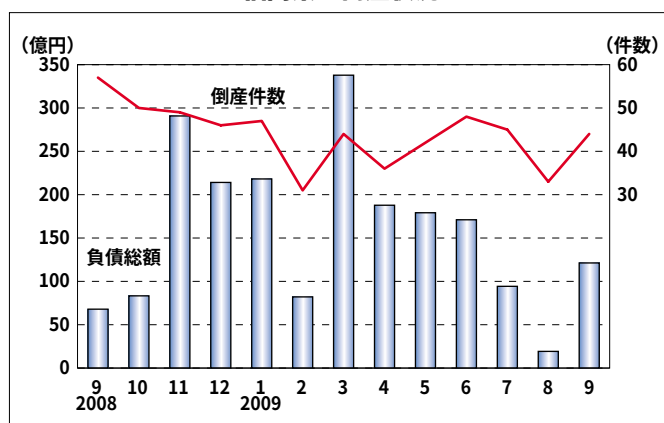
(出所)西日本建設業保証

8月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比32.5%増の914件、金額が同26.3%増の385億円と、件数、請負金額ともに前年を上回りました。

九州地方整備局の港湾関係の大型工事の発注が集中したことなどから、「国」などで大きく前年同月比増となりました。

[企業倒産]……………倒産件数は減少、負債総額は増加

福岡県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

9月の福岡県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年比22.8%減の44件でしたが、食品加工卸業の大型倒産が発生したことなどから、負債総額は同78.5%増の121億円となっています。

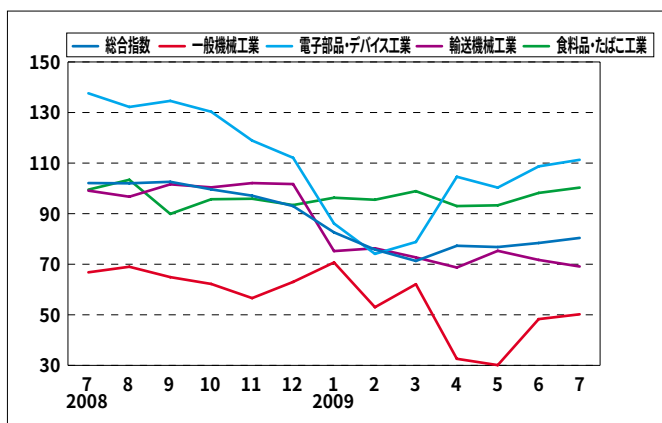
熊本県の最近の経済動向

[熊本県の景気]……………生産活動での回復の動きが続く

生産面では、電子部品・デバイスや電気機械などが上昇し、総合指数は前月比2ヵ月連続で増加しました。所得環境の悪化などにより個人消費や住宅建設全体は低調な状態が続いています。一方、公共工事が増加して景気を下支えするなか、企業倒産は緊急融資制度の効果などにより低水準で推移しています。

[生産活動]……………電子部品・デバイスや電気機械などの増産により、総合指数は上昇

熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



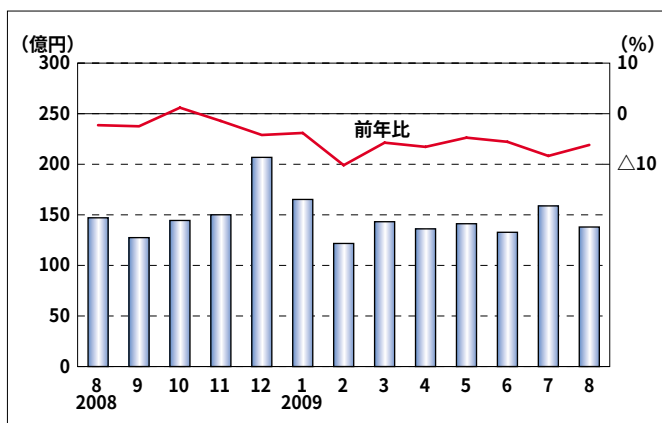
(出所)熊本県

7月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は80.4と前月比2.6%上昇しました。

二輪車の生産減少により輸送機械は低下したものの、集積回路の増産により電子部品・デバイスや電気機械が上昇し、総合指数は2ヵ月連続で上昇しました。

[大型小売店]……………節約志向の高まりから前年比減少続く

熊本県の大型小売店販売額



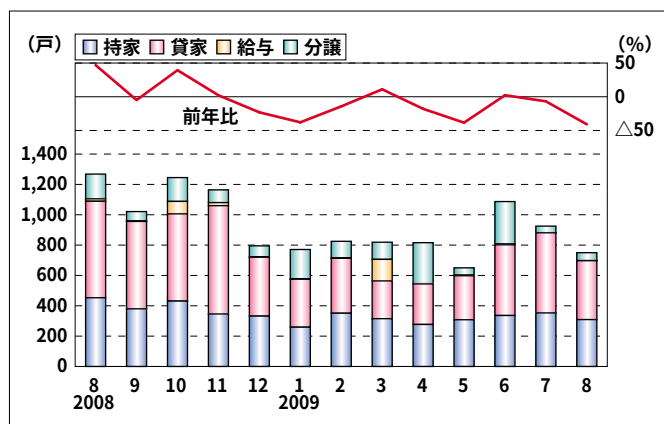
(出所)九州経済産業局

8月の県内大型小売店販売高は、消費者の節約志向が依然として強く、前年比6.2%減の138億円と前年実績を下回りました。

エコポイント制度効果で家庭用電気機械器具が前年比2.6%増加したものの、衣料品や飲食料品は前年実績を下回り、全体で前年比減少しました。

[住宅建設]……………分譲住宅の低調などで前年比40.9%減

熊本県の新設住宅着工戸数

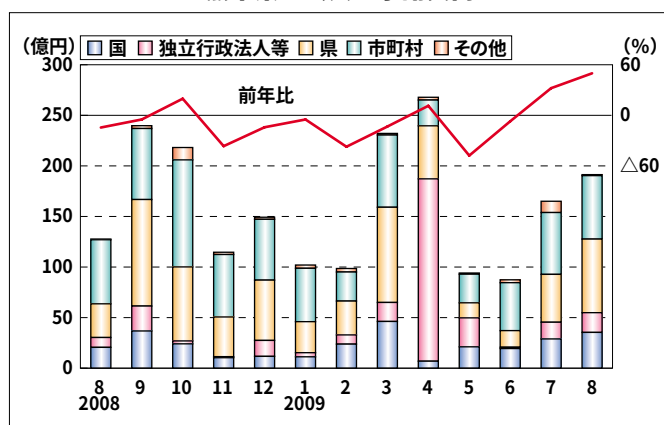


(出所)国土交通省

8月の新設住宅着工戸数は、全体では前年比40.9%減の750戸と、2ヵ月連続で前年を下回りました。持家で前年比31.8%減の309戸、貸家は39.0%減の388戸、特に分譲はマンションの着工がなく同68.1%減の52戸となりました。雇用や所得の先行き不透明な状況を反映し、全ての住宅で大幅な減少となっています。

[公共工事]……………件数、請負金額ともに大幅に増加

熊本県の公共工事請負高



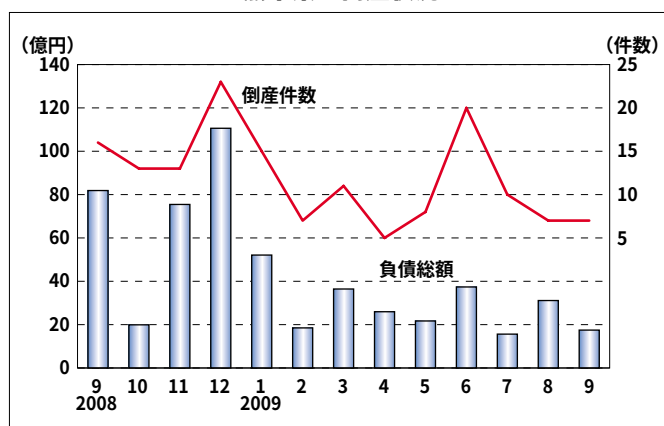
(出所)西日本建設業保証

8月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比50.4%増の627件、金額が同49.8%増の191億円と、件数、請負金額ともに前年同月の約1.5倍の規模に増加しました。

発注者別の請負金額をみると、熊本大学病院関連の工事などで「独立行政法人等」は前年比2倍に増加したほか、「国」、「県」、「その他」でも前倒し発注により前年実績を上回りました。

[企業倒産]……………件数、負債総額ともに低水準

熊本県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

9月の熊本県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年比56.3%減の7件、負債総額が同78.6%減の17億4,800万円となりました。

サービス業で負債額10億円超の倒産が1件発生しましたが、緊急融資制度の効果などにより、前年に比べて、件数、負債総額ともに低水準で推移しています。

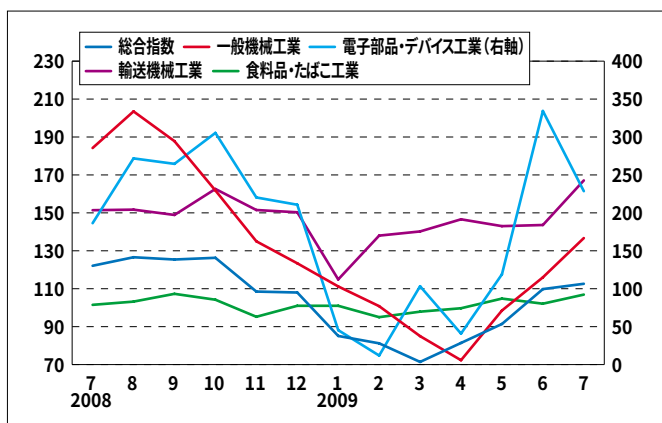
長崎県の最近の経済動向

[長崎県の景気]……………生産活動の持ち直しの動き続く

生産面では、電子部品・デバイスとは低下したものの、一般機械や輸送機械などの上昇により鉱工業生産総合指数は4ヵ月連続で前月比プラスとなりました。大型小売店販売額は前年割れが続く、住宅投資の動きは弱いものの、公共工事は県や市町の前倒し発注に加えて国からの発注増で増加し、また企業倒産は低水準で推移しています。

[生産活動]……………一般機械や輸送機械などが寄与し、総合指数は4ヵ月連続で上昇

長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2000年=100)



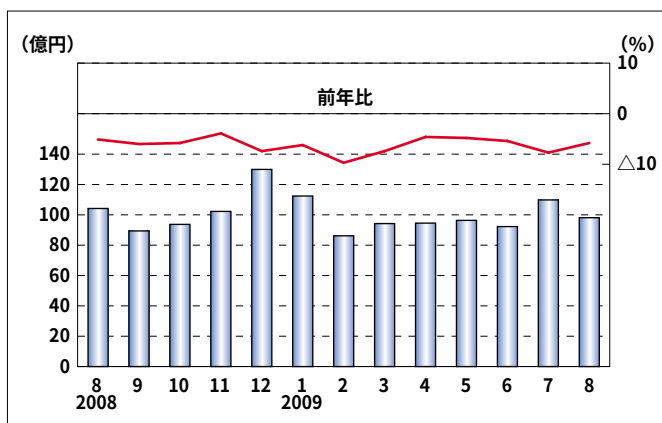
(出所)長崎県

7月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は前月比2.6%上昇し112.6となりました。

半導体やシリコンウエハの減産により電子部品・デバイスは低下したものの、一般機械や輸送機械などその他の主要業種は上昇し、総合指数は4ヵ月連続で上昇しました。

[大型小売店]……………消費者の節約志向が根強く前年比5.6%減

長崎県の大型小売店販売額



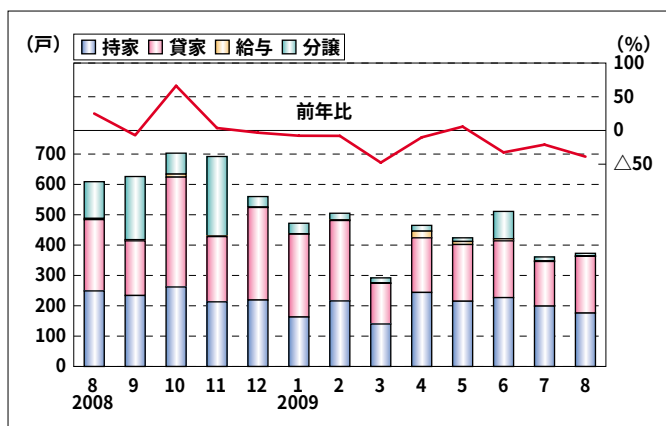
(出所)九州経済産業局

8月の県内大型小売店販売高は、消費者の節約志向が依然根強く前年比5.6%減の98億円となりました。

アイテム別にみると、夏物衣料のほか、飲食料品も前年比マイナスとなりました。業態別では、百貨店は前年比3.5%減に留まりましたが、スーパーは同6.6%減となっています。

[住宅建設]……………分譲住宅の着工急減により前年比38.8%減

長崎県の新設住宅着工戸数

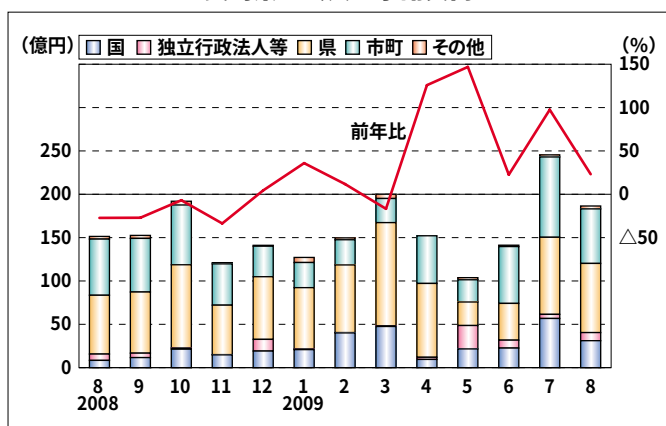


(出所)国土交通省

8月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比29.3%減の176戸、貸家では同20.4%減の187戸、分譲で同92.6%減の9戸となりました。全ての種類で前年比マイナスとなり、全体での実績も同38.8%減の373戸と、3ヵ月連続して前年比減少となりました。

[公共工事]……………件数、請負金額とも前年比20%超の増加

長崎県の公共工事請負高



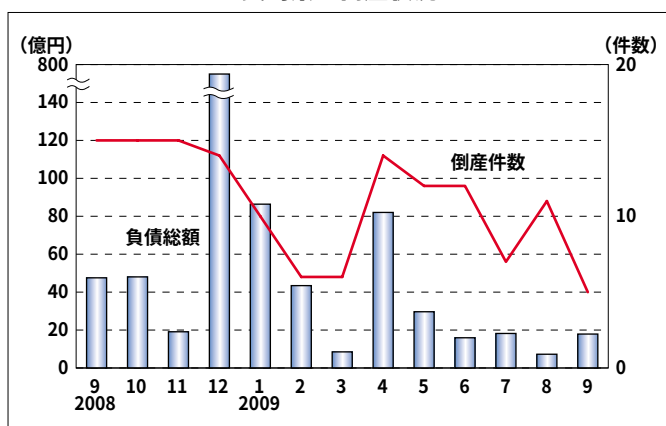
(出所)西日本建設業保証

8月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比25.9%増の500件、金額が同23.2%増の186億円と、件数、請負金額とも前年比増加しました。

発注者別の請負金額をみると、「国」では長崎港(小ヶ倉柳地区)岸壁、「県」では有喜漁港、「市町」では長崎市西部下水処理場など、経済対策等により各種工事が前倒して発注され、請負金額は増加しました。

[企業倒産]……………件数、負債総額ともに低水準で推移

長崎県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

9月の長崎県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年比66.7%減の5件、負債総額が同62.4%減の17億8,900万円となりました。

サービス業で負債額10億円超の倒産が1件発生しましたが、5月以降、緊急融資制度の効果等により、件数、負債総額ともに低水準で推移しています。